

入選 「わくわくする給食タイム」

今池小学校 柴田 佳奈

「いただきます。」

学校が休みの日以外、毎日決まった時間に同じようにクラスみんなで言い続けてきた言葉。あいさつは毎日同じですが、食べる給食は毎日違う味・違うメニューです。給食のワゴンが教室に來ると、今日はどんなメニューかな、どんな味かなと毎日毎日楽しみでなりません。わたしには、ひそかな楽しみがあります。それは、こんだて表を見ないことです。なぜなら、こんだてを知らないことで、わくわくする気持ちが高まり、驚きや感動が増すからです。毎日、毎日わくわくしながら給食の時間を迎えます。そして、給食が配られてからこんだて表を見て確認しています。それから給食を食べます。四年生から六年生の今まで、ずっと続けていることです。この毎日ある楽しみのおかげで、毎日学校にわくわくしながら登校しています。「ごちそうさまでした」毎日クラスみんなで言う感謝の言葉。けれど、給食委員になってからは、この言葉と言う前に委員会活動のため配せん室へ向かうようになりました。クラスのみんなと一緒にあいさつができないのは残念ですが、「ごちそうさま」という言葉の代わりに給食委員の仕事の終わりに「ありがとうございました」と言うよう

になりました。給食をおいしくいただき、そして、給食委員の仲間と一緒にてきぱき活動して言う最後の言葉はわたしにとつてとても大切な言葉になりました。給食委員会は、みんなが掃除をしている時間にも活動があります。給食センターの方にめいわくをかけないように片付けの仕方をチェックして正しく直すというとても大切な仕事です。初めは、やり方が分からなくて困ってしまうこともありました。けれど、先生や給食委員経験者にしっかりと教えてもらい、今では、わたしが教える立場になりました。給食委員はてきぱきと仕事をこなし、みんなの役に立っていると実感できることがとても楽しいです。しかし、楽しいと同時に責任を感じます。だから、しっかりと自覚をもって仕事をしようといつも思っています。

これからも、給食委員の仕事をしっかりやって、正しく食器をワゴンにのせ、給食センターのみんさんの仕事が楽になるようにがんばっていききたいです。そして、クラスのみんなや学年、全校のみんなに、正しい片付けの仕方を呼びかけていきたいです。